



炭素が持つ機能を活用し新分野の研究開発

合成樹脂を使った装飾工芸品を製造していたが、2000年より炭素の研究開発に取り組むことになる。中でもダイヤモンドの分子構造に近い「超高密度炭」に着目し、産官学連携のもとで「医療」、「環境」、「食料」分野で新たな商品開発を進める。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

余った合成樹脂で炭素を作り始めたことがきっかけとなり、色々な素材を炭化する。中でもダイヤモンドの分子構造に近い「超高密度炭」に着目し、研究開発することになる。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果として挙げられるのは大学と共同開発することで商品の信頼性が増し、大手企業から問合せがあり、販売契約ができたこと、公的機関の補助金、助成金が受けられることで対外的な信用が高まり、類似商品と差別化することができた。一方非常に困難であったことは資金調達である。

企画・開発・試験と販売に至るまでのプロセスは長く、商品が完成したとしても販売が弱い市場に認知され流通するまでの期間は忍耐が必要であった。

業況等について

合成樹脂製品は不調であるが、医療小物 炭素を使った血行を良くするネックレス「DLC」ブラックダイヤモンドアクセサリが4年前に不調な時期もあったが、現在の売上高は200,000千円で売上高構成比は70%と好調である。

大学と共同研究し展示会の出品を機に売上を伸ばしている。

今後の展望・見通し

今後の展望としては1社で独占販売していたが、社団法人遠赤外線協会、日本産業皮膚衛生協会の認定を受けられたことで商社など数社より販売オファーがあり、国内で拡大傾向である。将来的に海外へも販路を拡大していきたい。

メリット・デメリット

メリットとしては異業種参入により同業種内では見えないものが見えてくることで視野がひろがり、新たなヒント、アイデア、発想が生まれる。

デメリットとしては裏づけデータのない類似品がでてくることである。

異業種参入時のアドバイス

色々な所に出かけ(行動し)、人と交流(会話)し、知識を得る(アイデアが生まれる)ことを意識的に行うことと、自分の確かめる(本物を見る)目を養うことが大切であり、PCから得られる情報が全てではない。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

滋賀県 創造活動促進法対象企業 補助金
京都市 中小企業新事業可能性調査事業 補助金
ものづくり中小企業製品開発支援 補助金
京都府 ウェルネス産業コンソーシアム健康産業開拓支援事業 補助金 他

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

物づくりの補助・助成金だけでなく、その後の自立支援(販売支援)を金融機関と連携して行ってほしい。

会社概要

設立:昭和45年4月

資本金:6,000万円

従業員数:14名

URL: <http://ohki-techno.com>